

5. 大学研究解題:大学における地方創生の研究者・研究の概観

[Japa 理事 佐竹 弘：元産学連携学会長・徳島大学教授]

わが国の大学等研究機関の研究者やその研究成果を広く紹介することを目的に、「大学等研究成果活用推進支援プラットフォーム」<https://japa-utob.wixsite.com/sangaku-renkei> を2013年に立ちあげ、爾来、関連データを蒐集・蓄積してきています。

現在、大学等の情報は大学等 560 校、約 20 万件のデータ収録をしています。

政府は国家戦略として地方創生政策を打ち出し、市民、企業、大学、政府が一体となり、打開策を模索しています。大学にも COC、COC+プロジェクト（人材育成事業）、大学も社会貢献や地域人材育成のための学部・学科を新設し、大学の知を結集して、地域振興を担う人材育成、新規産業創出、まちづくりなど、大学の文系、工学系、医学系などすべての分野の研究者が協働して地域の課題解決に取り組んでいます。

こうした状況を鑑み、蒐集したデータから、地域貢献・社会貢献の取り組み、地域づくりやまちづくりなど地域の持続的発展（すなわち地方創生）に取り組む大学等、研究者を抽出した研究者紹介冊子も作成しています。

- 2019/05/17 地方創生に取り組む研究者紹介冊子第2版発行：研究者 約4千名
- 2019/02/26 地方創生に取り組む研究者紹介冊子（CD版）発行：研究者 2,150名

注：これらは、有料販売されています。お問合せ先：info@japa.fellowlink.co.jp

「山間地」の研究者も整理中で、山間地研究者約360名です。

地方創生を研究している研究者の専門分野は、地方経済のみでなく、地域の設計、地域住民との意思疎通等をはじめとする多分野に跨がっています。学科的に言えば、経済学、土木計画・都市計画学、建築学、社会学、心理学、コミュニケーション学、・・・等々。

今後、この中から、時宜に合ったテーマ等で pick アップして紹介していきます。

